

<道徳教育奨励賞>

校長 佐藤 幹彦



令和5年2月11日(土)に、岐阜市民会館にて、「第18回岐阜県道徳教育奨励賞」の表彰式が行われ、本校は「優秀賞」をいただきました！この賞の表彰機関は「岐阜県道徳教育奨励協会」で、次代の日本を担う青少年の基本的な人格形成を養成する教育現場に「心の通う教育の実践校にエールを贈る」という呼びかけのもと、「道徳教育奨励賞」を設立し、平成17年より毎年、県下の小中学校の優秀な道徳教育の取組を顕彰いただいています。また、平成20年からは岐阜県教育委員会の後援をいただくようになったことで、エントリー数がかなり増えたようですが、本校はこのところ毎年応募しており、数年前にも賞をいただいております。

今年度の実践としては、道徳教育の要となる道徳科の時間に、その時間に扱う道徳的価値に係るSST(ソーシャルスキルトレーニング)を取り入れて実際にロールプレイ等を行う中で、そういう場面で必要な行動や言葉を考えさせながら、道徳的実践につなげる取組をしたり、その実践を活かして「あったかい言葉かけ県民運動」へつなげて参加したりしました。また、各学年の実態に基づきながら、「誰もが安心・安全に生活できるようにすること」を第一義とした「いじめ防止」に関する授業や、多様性や他者との違いを知って受け入れることの大切さを定期的に学ぶ「シリーズ人権」の授業、さらには、学級の中で仲間のために努力している生徒を表彰する「善行表彰」の取組などを認めていただけたことを大変嬉しく思い、生徒や先生方の頑張りの成果として、本日全校放送で紹介しました。

今回いただいた「優秀賞」には、副賞として「奨励金5万円」をいただきましたので、生徒会長とも相談しながら、よりよい学校生活のために有効活用していると考えています。これからも、生徒がよりよく生きるための基盤となる「道徳性」を育成していくために尽力していきます。

